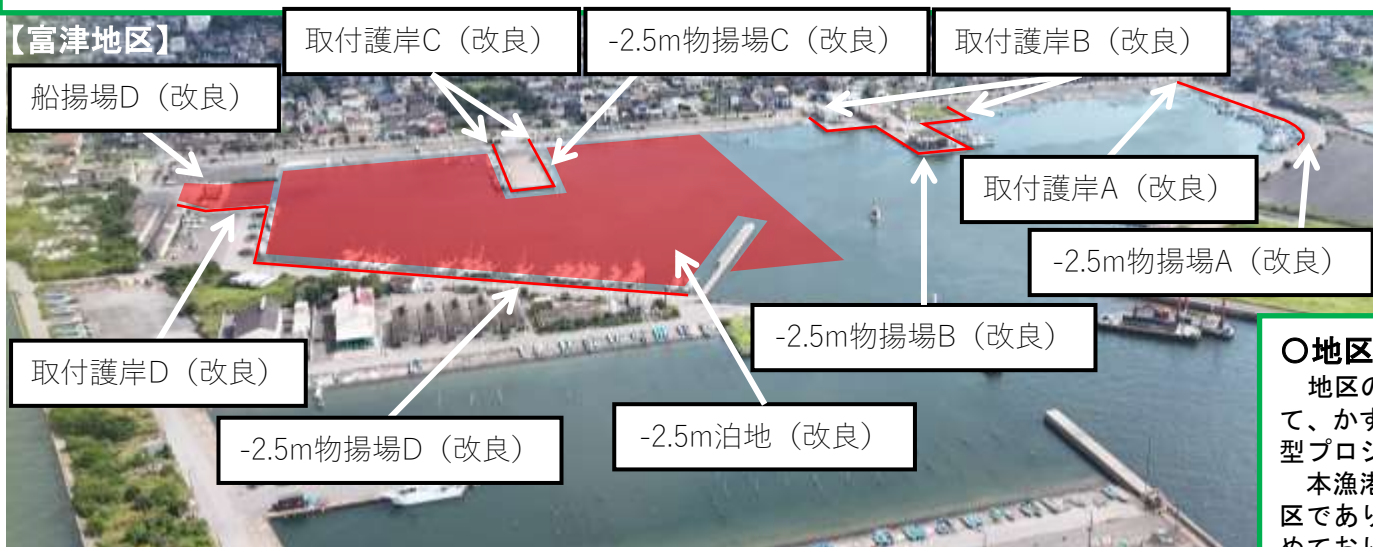


富津地区(千葉県富津市) 特定漁港漁場整備事業計画

事業の目的

・富津地区では、-1.5m泊地及び物揚場を増深整備し、下洲地区においては、沖防波堤を整備することにより、漁業活動の効率性・安全性を向上し、水産物の生産機能の強化を図るものである。

【富津地区】



【下洲地区】



○地区の概要

地区の2地区から構成され、東京湾アクアラインに加えて、かずさアカデミアパーク等の波及効果が期待される大型プロジェクトが多い地区である。

本漁港はのり養殖業や採貝業等を中心に漁業が盛んな地区であり、特にのり養殖は漁港全体の陸揚量の約9割を占めており、東京湾漁業の重要な生産拠点となっている。

また、漁港内にある県漁連の加工施設では、千葉ブランド水産物に認定されている「手入れ海苔」が製造されているほか、漁港周辺の海岸線では春先から夏にかけて、遠浅な砂浜を利用して、観光産業とタイアップした潮干狩りが盛んであり毎年、多くの観光客で賑わうなど地域の基幹産業として、地域経済を支えている。

○事業内容

・主な事業量

(富津地区)

- 2.5m泊地(改良) 41,000m²、
- 2.5m物揚場A(改良) 130m、-2.5m物揚場B(改良) 223m、
- 2.5m物揚場C(改良) 140m、-2.5m物揚場D(改良) 270.4m、
- 船揚場D(改良) 50m、取付護岸(改良) A 30m、
- 取付護岸B(改良) 63m、取付護岸C(改良) 60m、
- 取付護岸D(改良) 38.1m

(下洲地区)

沖防波堤(新設) 60m、用地(新設) 7,800m²

- ・事業費 : 2,300百万円
- ・事業主体 : 千葉県
- ・事業期間 : 令和7年度～令和16年度